

市立吹田市民病院 患者支援センターに来られた患者様へ
研究へのご協力をお願い

【本臨床研究の背景と目的について】

日本では、2025年には団塊の世代すべてが75歳以上の後期高齢者となる「超・高齢化社会」が始まり、医療や看護・介護サービスを必要とする方が一層増加することで、社会保障システムの破綻が懸念されています。そのため、住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を送ることを支援する地域包括ケアシステムという体制があります。患者支援センターでは、患者様が不安なく地域生活に戻れる看護を提供するために、他職種連携の重要性を見出すために、以下の研究にご理解を賜りますようお願いいたします。

【研究の方法について】

この研究は、患者支援センターで入院前支援を受けて、定期入院をされた患者様の診療録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する医療指針（平成26年度）」の規定により、対象となる患者様のお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが求められています。

【対象となる方】

2021年5月～9月に患者支援センターで入院前支援を受けられた方で、年齢75歳以上・要支援2以上の介護認定をうけており、担当のケアマネージャーがいる方。

【使用するカルテ情報】

背景（年齢・介護区分・社会資源の利用内容・ケアマネージャーの有無・事業所・家族情報）、入院患者様用問診表に記入して頂いた内容で、カルテの必要箇所に入力されている情報。退院に関する記録全般。

【研究協力の辞退について】

この研究に協力を希望されない方は、下記担当者までお知らせ下さい。研究に協力されない場合であっても、患者さまが不利益を被ることはありません。

【プライバシーの保護について】

この研究で得られた成果は、今後、学会発表や学術雑誌等で公に発表されることがありますが、協力していただいた個人を特定できる情報を公開することはありません。プライバシー保護には最大限の注意を払います。

【問い合わせ先】

市立吹田市民病院 患者支援センター TEL：06（6387）3311（内線5251）関根めぐみ